

## 1 共通主題

- (1) 主題名「豊かな人間性をもち、自ら学び、自ら考えるたくましい児童生徒の育成」  
 (2) 主題設定の理由

これまで本研究会は、豊かな人間性の育成と確かな学力の定着を柱に据え、授業づくり  
 に焦点をあてた教科等領域での実践を進めてきた。また、小・中合同研究会では、日常  
 の職務を通して児童生徒の健やかな育成につながる取組を行ってきた。

昨年度は、平成20年度より3年間にわたる市教育委員会第6次学力向上対策の下、完  
 全実施を視野に入れた各部の授業研究の一層の充実と小・中連携の推進の2点を重点に運  
 営してきた。

その結果、各校の全教職員による指導体制の充実と各教職員の指導法や評価、教材教具  
 の工夫などにより、児童生徒の学習への意欲や学力の着実な向上が見られるようになって  
 きた。しかし、小・中連携を通じた学力向上への取組については、連携の重要性への認識は高  
 まってきてはいるものの、まだ十分な取組とは言えない。小・中学校や学校間での温度差、  
 小・中交流授業の難しさが課題として残された。また、本研究会研究紀要「究」にまとめ  
 られたように、各部会における精力的な取り組みで成果を上げつつあるが、各校の学力の現  
 状や児童生徒の「生きる力」の育成、残された課題を考えると、課題解決に向けた実践研究  
 を継続することが求められている。

今年度、新たに市教育委員会より第7次学力向上対策が示された。「子どもと教職員の力  
 を1割アップしよう」のスローガンを継続し、「確かな学力」を育てることと「確かな授業  
 力」を身に付け高めることを目標とし、学校や教職員が明確な目標設定をし実践すること  
 で、児童生徒の健やかな成長と学力保障を目指すものであり、本研究会の指針ともなるも  
 のである。

このようなことから、今年度も本主題を設定し、新学習指導要領の趣旨及び大館市の施策  
 に沿った実践を行うことで、大館市の教育の一層の充実を図っていきたいと考える

## 2 運営方針

新指導要領完全実施を視野に入れた各部の授業研究の一層の充実と小・中連携の推進の2点  
 を重点として運営していきたい。

- (1) 各部会が「取組の視点」をもとに実践交流を行い、会員の授業力向上と各校の学力向上に  
 努める。

## 取組の視点

## 1 「確かな学力」育成のための取組

- 基礎的・基本的な知識・技能の育成
- 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・  
判断力・表現力等の育成
- 学習意欲の喚起

## 2 「確かな授業力」への取組

- 生徒指導の機能を生かした学習指導
- 積極的な研修

- (2) 小・中連携を積極的に行い、学力向上も含めた各中学校区の課題解決につながる交流実践、  
 協議を行う。

## 3 事業計画

- 4月 5日(火) 会員名簿提出(各校)  
 4月13日(水) 第1回総合研究会 (文化会館・中央公民館・城南小)  
 (13:00教科外部会, 小中合同部会 14:30総会 15:30教科部会)  
 5月12日(木) 第1回運営委員会 (15:00 釈迦内小学校)  
 第1回研究紀要編集委員会(運営委員会終了後)  
 8月 5日(金) 大館市教育講演会(ホテルクラウンパレス秋北)  
 10月25日(火) 小学校第2回総合研究会 (午後)  
 10月28日(金) 中学校第2回総合研究会 (午後)  
 11月 9日(水) 教科外「道徳」・合同部会「学校栄養」「事務」第2回総合研究会(午後)  
 11月10日(木) 教科外「総合」「外国語」・合同部会「学校保健」第2回総合研究会(午後)  
 11月11日(金) 教科外「特別活動」・合同部会「特別支援」第2回総合研究会(午後)  
 11月24日(木) 代表世話人会 (16:00 釈迦内公民館)  
 12月27日(火) 第2回研究紀要編集委員会 (13:30 釈迦内小学校)  
 2月15日(水) 第2回運営委員会 (15:00 釈迦内公民館) ※研究紀要「究」発行